



## 市民の市民による市民のためのまちづくり

知立市まちづくり委員会という、

まちづくりの調査研究組織は、

まちづくりを他人事とせず

地域に住む自分達が当事者となって

地域に関わっていくことで、

よりよい暮らしの創造というまちづくりを

達成できるのではないかと、

そんな市民があふれて、まちをもっと

わくわくさせられるのではないかと、

そう信じて活動してきました。

### 次第

- 1 市長 あいさつ
- 2 最終報告書 提出
- 3 プロジェクトレポート
- 4 個人レポート
- 5 市長講評
- 6 委員長あいさつ

## まちづくり委員会 平成29年度のプロセス

### 5～6月 市民版まちづくり計画に沿った検討

- ・ 駅前に欲しい魅力的な生活施設のアイデア
- ・ ビールフェス、農業体験などの駅前イベント
- ・ 荒神切遺跡公園整備
- ・ ポケモンGOを使った周遊マップ
- ・ NPOで自然生物学学習プログラム
- ・ 子育て世代向けの情報のまとめ

### 7～9月 テーマを決めるため、実地調査も

- ・ 知立の魅力、観光・歴史資源の発信ができていない。
- ・ ユネスコ、弘法さん、かきつばた、大あんまきなど
- ・ 名鉄、レンタサイクル、ミニバス、周遊マップなど観光発信にもっと利用を
- ・ 若者は観光に魅力を感じていない、暮らしやすさ、交通の利便性などの魅力のPRが必要では

ミニバス・レンタサイクルに乗って調査！！

**市民にとって  
必要なもののうち、  
市民の手で実践できる取り組み  
をテーマに決定！！**

- ・ 市内の魅力の発信。
- ・ 名鉄、ミニバスなど交通の利便性を伝える。
- ・ 歴史散歩道の魅力PR

### 12月～1月 イベント実施の決定

- ・ ガイドボランティアへの依頼
- ・ 協賛品等の事業者への協力依頼
- ・ 広報活動、ビラの作成配布
- ・ 口コミによる拡散

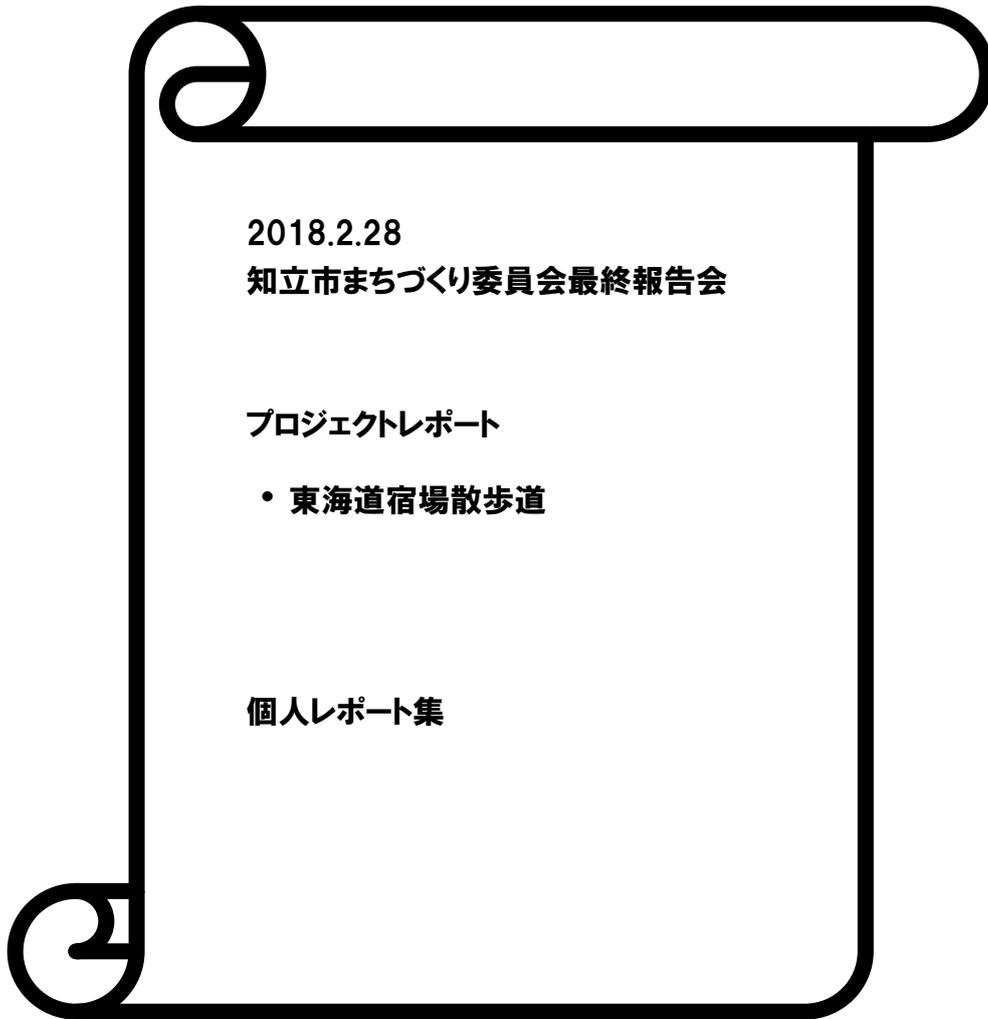
2月11日イベント実施！！

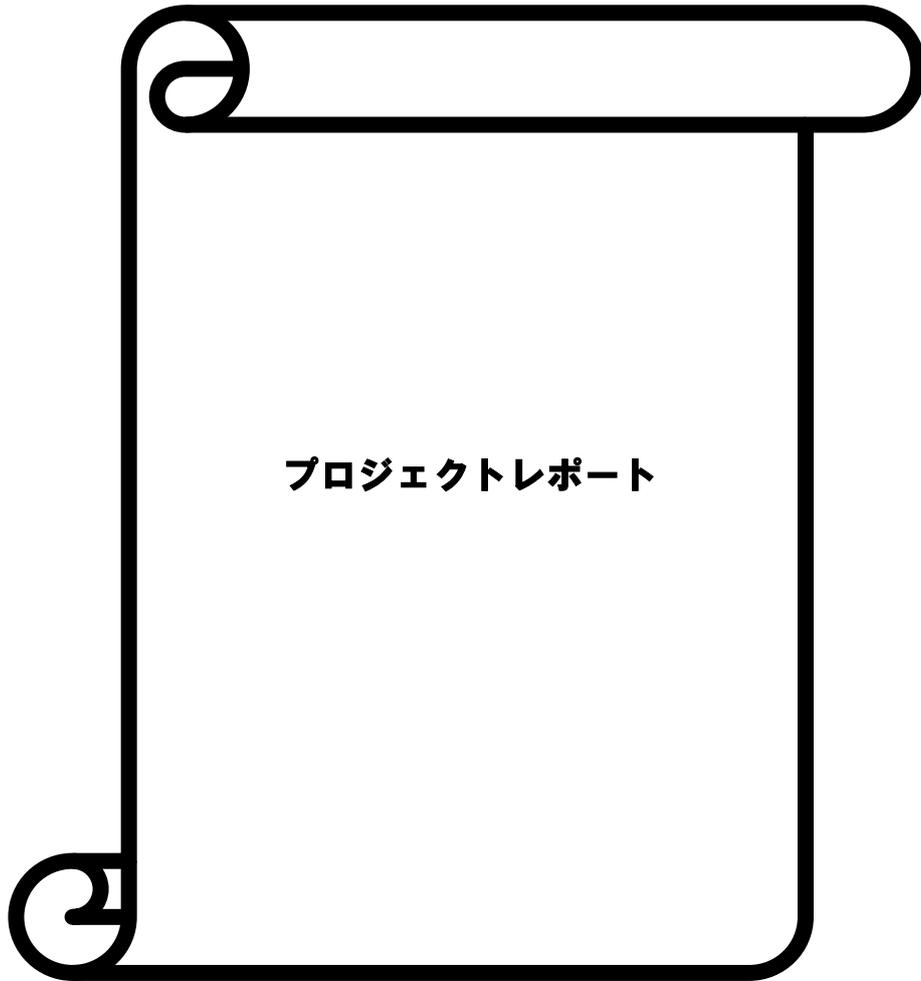
### 10～11月 方向性の決定、行動

- ・ 散歩道100選と名鉄、ミニバス、レンタサイクルの組み合わせ。名鉄ハイキングを参考
- ・ ちりゅっぴ、山車などとの調整等、市民活動として実施していくことの難しさを感じる。

○まちづくり委員会で出た知立市やまちづくりへの想い、取組のアイデア

	方針	項目	取り組み
1. 訪れたい知立づくり(顔づくり・まちづくり)	知立駅を活かした魅力あるまちづくり	知立の顔となる知立駅づくり、まちづくり	■東海道、知立神社をデザイン化し「池鯉鮒駅」の顔を一新
		子ども・女性・お年寄りにやさしい知立駅周辺のまちづくり・人づくり	■スカイウォークの導入
		知立駅において活動・交流できる場所の確保	■イベント広場を併設し、情報発信基地に ■ビールフェス、農業体験、東海地方初のようなイベント
	市外の人が何度も訪れたいまちづくり	現在の知立の観光資源を活かした新しい魅力づくり	■荒新切遺跡公園の整備 ■東海道松並木に坂本竜馬像の建立 ■SNSを活用した広報(フォトジェニック、キャラクター) ■コミュニティバス、レンタサイクルの利用
		場所や取組みを線や面で展開する観光資源のつながりづくり	■道の駅の設置 ■ポケモンGOを利用した周遊マップ作り ■既存の観光マップを周知 ■新たな観光ルートの検討 ■散歩道100選の散歩道を取り上げる
2. 暮らしやすい地域づくり	住民の手でまち造りを進める知立づくり	みんなが参加できる地域活動の推進	■NPOで自然生物学学習プログラム整備・実施 ■文化のつどいを周知・広報し開催意義を広める ■生涯学習講座に登録している人と地域を結びつける
		頑張っている人を応援する仕組づくり	■シルバーお助け隊推進プロジェクトの活動に着手
	地域で子どもが育む知立づくり	子どもの知立市への愛着、生きる力、豊かな心を育む、地域の場づくり	■古代史探検隊プログラム
		子どもが安心して、安全に暮らせる地域づくり	■ちびっ子消防隊長育成プログラム
		子育てをサポートする地域づくり	■子育てに役立つ市の事業などを調べてまとめる。





プロジェクトレポート



まちづくり委員会

# プロジェクト レポート

平成29年度知立市民まちづくり委員会

平成30年2月28日

## 《プロジェクト企画》

ち り ゆ う

# もっと池鯉鮒を知ろう！

～わが良き町、誇れる町を内・外に発信したい～

プロジェクト テーマ

市内外の人が何度  
も訪れたくなるまち  
づくり



交通の要所  
住みよい町  
づくりを促進

文化の道

『新日本歩く道紀行100選』に選出された、

「**東海道宿場散歩みち**」をもっと強くアピール

# ① 目的のための課題抽出と手段

…目的…

- 「新日本歩く道紀行100選」を PRすることで
- 知立市が魅力的なまちであることを知ってもらう

さらに

…手段…

- 「東海道宿場散歩みち」を イベントを通じて強くアピール

さらに

…活動…

- 訴求の手立て (なにもしないより やってみよう!)

とにかく

①「ウォーク&ミニバス&レンタサイクル」活用キャンペーンの展開

②知立駅前に看板・案内パンフの設置

③広報ちゅう、ポケモンGo等での発信

関係諸団体と協業が必須



## ② 自主運営組織を立ち上げて 『2.11東海道歩こう会』を企画

- 内外への魅力拡大、家族や友達、グループでの健康増進も兼ねた、「4つの交通手段の組み合わせ」で訴求
- 日時** : 2018. 2.11 10:00~12:00
- 集合場所** : 三河八橋駅
- 規模** : 30人前後
- 交通手段** : **名鉄**、ミニバス(パールコース)、  
サイクル、徒歩から選択
- イベント** :
  - ・ちりゅっぴ記念撮影会、
  - ・あんまき等、知立名産品のお土産提供



## ◆ イベント基本構想(行程)

- 三河八橋駅集合**10:00**

説明後 スタート**10:05**

無量寿寺 来迎寺一里塚 東海道松並木馬市 (**ちいゅっぴ登場**)

問屋場跡 池鯉鮒宿本陣跡 脇本陣跡 知立古城跡

- 知立神社解散**12:00** (**お土産の配布**)



知立名物大あんまき

## ◆ 実行計画の具現化

- **役割分担**: 統括: 近藤会長  
 事務局長 (折衝、雑用); 信原副会長  
 各作業・チリュッピ山田さん・・・
  - 広報; 信原、藤井さん
  - 土産、ガイド手配; 信原さん
  - 案内箱、チラシ: 大羽さん・・・
- **具体行動**: **早急に検討** (もう2か月切ったよ、でもOK)

**ほぼ見切り  
発車!!**

# ③イベントの開催

今日は快晴、 さあスタートだ！



林知立市長も応援に駆け付けました



# 無量寿寺のカキツバタはあまりにも有名だ



…伊勢物語…  
か 唐ころも  
き 着つつなれにし  
つ 妻しあれば  
ば はるばる来ぬる  
た 旅をしぞ思う

ゴールめざし歩け歩け



在原業平像の前でガイドの説明に耳を傾ける参加者

## メインは東海道松並木と馬市の跡



東海道松並木  
はずれにある  
五十三次「馬  
市」の看板



## 池鯉鮒宿、知立古城跡等を経由し ゴールの知立神社へ到着



知立古城跡



2時間半かけて  
知立神社へ到着だ



池鯉鮒宿本陣前



みんな、ご褒美の  
大あんまき  
もらった?

## 実施結果と参加者の皆さんの感想

当日は快晴に恵まれ、参加者23名はじめ関係者ら約30名が名鉄三河八橋駅を出発、カキツバタの無量寿寺、東海道松並木馬市、池鯉鮒宿本陣跡などを巡り、終点の知立神社まで約5.6キロを2時間半かけて歩いた。参加者は、5歳～70代と幅広い層だったが、全員みごと完歩。

参加者たちは口々に「いつも車で走っていたが、歩くことで知立の歴史を詳しく知れた」、「知立の良さを再認識した」、「勉強にもなるし、健康に良い」等、好評だった。75歳の杉浦政身さんは「万歩計で12,119歩で、『44歳』の歩きだった」と、喜んでいた。

子供2人とお母さん連れで参加した八橋町の福島陽子さんは、「5歳の子供が歩けるか心配でしたが、何とかできよかった。私もお陰で運動不足も解消できた」、9歳の果歩ちゃんは「昨日はテルテル坊主を作った。今日は晴れてよかった。最後まで歩いたよ!」、と喜びを語ってくれた。



やったよ!

## ④ 結果と考察①

- 散歩道100選をテーマとした着眼点はよかった。満足度も76%と高く、参加者が楽しんでいた事が肌に伝わってきて良かった。
- イベントの良かった点は、歴史・文化が知れた76%、健康に良い57%、あんまきがもらえた42%、で予想外に「あんまき」に人気があった。
- スタッフのベクトルも最後にまとまった(?)



ちりゅっぴ残念！  
PR不足も反省。  
でも、短時間でよくここまでみんな  
で頑張ったネ。

## 結果と考察②

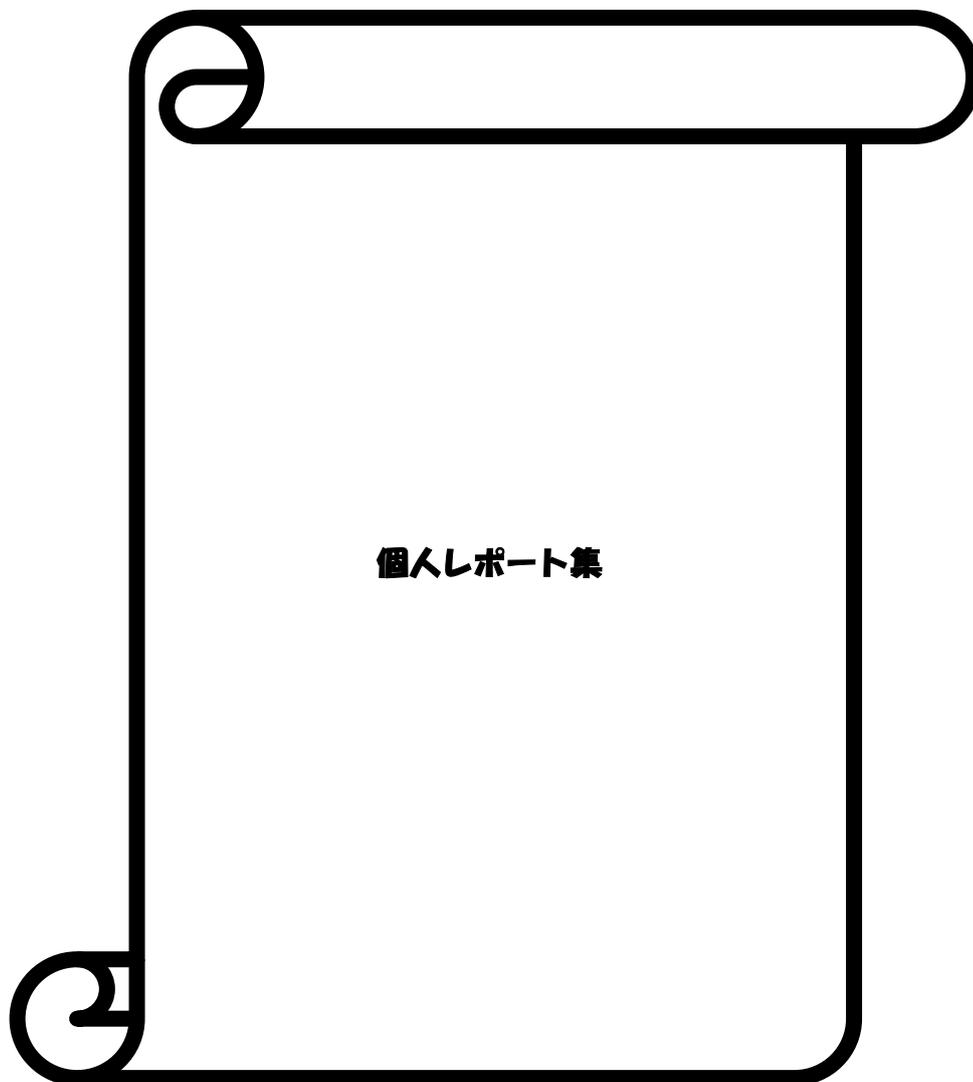
- 4つの交通手段を提案した中、自転車・バス利用は30%と低かった。浸透不足か？
  - ⇒ミニバスの時間表、レンタサイクルの設置場所など、細部の情報の発信不足
- 市内外に訴えたが市外からは1人だった。
  - ⇒PR手法として、ポケモンGO,広報ちりゅう、駅前看板設置等の調整に手間取ってしまった。
- ちりゅうっぴ借り入れ基準が厳しく、目玉の記念撮影を途中で残念。
  - ⇒多面的なアプローチで粘り強い交渉が必要だった
- 遊歩道が整備不足で、事故の不安が大きかった
  - ⇒これらも含め、市に改善請願が急務

## 最後に

- ◆市役所はじめ関係団体の皆様、そしてボランティアガイドの平澤、川嶋さんに感謝。
- ◆歩こう会活動は、にわかづくりで微力ではありましたが、なにがしかの達成感あり。
- ◆これを機に、「まちづくりとは何か」を改めて考え直していきたいと感じました。

1年間、そしてご清聴誠に  
ありがとうございました。





名前：近藤博子 ・職業：公務員 年代：60代 ・市内在住 39年

一言コメント：

自分の持っている力を知立市の町づくりに活かしたい



#### 参加理由

38年間の教員生活後、現在、西三河教育事務所で、家庭教育コーディネーターとして、碧海4市（知立市・高浜市・安城市・碧南市）の小中58校を担当し、主に不登校児童生徒の相談活動をしています。この度、広報「ちりゅう」を読み、これからの町づくりについて、グループで検討し、何が市民のために必要か、そして、その中で、市民の手で実践できるものは何かを考えていく「市民自らの手によるまちづくりを考える」組織が結成されるとのこと、とても素晴らしい組織ができるだろうと、胸が高なりました。

昨年、「知立の山車・文楽とからくり」が、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。江戸時代から受け継がれてきた伝統が世界に評価されたのです。知立の山車・文楽とからくり、かきつばた、東海道53次の松並木をはじめとする、知立の歴史や文化は「知立の財産」です。この財産を受け継ぎながら、新しい知立を創っていきたい。今後、知立駅付近連続立体交差事業、知立駅周辺土地区画整備事業が進められていきます。なんと素晴らしいことではないでしょうか。さらに、新しい知立市の魅力が増していくことでしょう。

知立市のマスコットキャラクター「ちりゅっぴ」も大活躍。「ちりゅっぴちりゅっぴ」の歌もでき、振り付けも完成し、よいとこ祭りで大勢の知立市民が元気に盆踊りの一曲として踊りました。「知立市が大好き」と誰でも、笑顔で誇れる「まちづくり委員会」のメンバーの一員として、自分の力を活かしていきたいと考え、参加しました。

#### 気づきと変化

第1回「知立市まちづくり委員会」に参加したのは、男性5名、女性2名の7名でした。林市長さんから委嘱状を渡していただき、それぞれがこの委員に応募した動機を話してスタートとし、9か月が経ちました。この間、各委員が、「知立のことをもっと知りたい」という思いで、何ができるのかを思いつくままに話しながら、進めてきました。そして、話し合いを重ねる中で、今回の企画「2.11東海道歩こう会」となり、わが良き町、誇れる町を知立市内・外に発信することになったのです。幸いにして、「東海道宿場散歩みち」は「新日本歩く道紀行100選」に選ばれています。そのPRをするために、どのような準備が必要かを考え、レンタサイクルやミニバス、徒歩で、各自が実際にコースの確認をし、市民への参加を呼びかける企画案を作り、役割分担をして計画を練ってきました。イベントを実施するにあたり、チラシを配ったり、知立くらしのニュースに掲載していただいたり短い期間でしたが、参加者の呼びかけをしました。少ない人数でもみんな良く頑張りました。参加者にアンケートをお願いし、次回開催での改善点も教えていただきました。今回の参加者は約30名でしたが、林市長さん、柴田県議会議員さんには、開会式で応援メッセージをいただき、みんなで記念撮影もしました。知立の歴史や文化について、観光ボランティアさんのおかげで勉強することもできました。天気のことをせず、気持ちの良い散歩みちを参加者と一緒に歩き、もっともっと大勢の人たちに知立市の魅力を知らせたくなりました。

#### 期待と今後への活かし

「新日本歩く道紀行100選・知立発東海道宿場町散歩道ルート」が、馬市や木綿市で賑わった歴史あふれる知立市の財産としてだけでなく、今後、市内外の人が何度も訪れたいくなる、素晴らしい町づくりになるように、微力ながら頑張りたいと思っています。そして、一人でも多くの方が「わがまち知立」ために、今回のようなイベントに参加していただけるように、反省を活かして次回の企画を考えたいと思います。

縁あって知り合えた人の輪を大事に、大切にしていきたいと思っています。有難うございました。

名前：山田みのり ・職業：会社員 年代：20代 ・市内在住18年



### 参加理由

大学で持続可能な農山村コミュニティの在り方や歴史的街並み保存等のまちづくりについて専門的に学んでいました。しかし県外の大学に通っていたこともあり、地元である知立のまちづくりについてはあまり詳しく知らなかったため、改めて学んでみたいと思い参加しました。

委員会は少人数でしたが、各々知立のまちづくりに対し様々な考えを持っていることが分かりました。仕事をしながらの参加でご迷惑をお掛けしてしまう点もありましたが、様々な経歴を持ち世代も違う方たちとの議論はとても勉強になりました。

### 気づきと変化

知立について議論していくと、歴史文化や交通の便が良いといった魅力がありながらも、どちらかという課題となることが多い印象を受けました。また知立に長く住んでいても、知立のまちについて実はよく知らないことがあるという委員メンバーが多く、私もその一人でした。しかし、それが逆に「知立についてもっと深く知ろう」という考えを生み、実際に行動を起こすことができたのは大きな成果だったのではないかと思います。具体的には、レンタサイクルやミニバスに乗って観光ルート等を巡ることから始め、そこから見えてきた課題をもとに地域の特色を生かした『「東海道宿場散歩みち」を歩こう』というイベントを企画し、ガイドボランティアさんの詳しい説明をお聞きしながら市民の方とウォーキングイベントを楽しんだり、短期間でしたが様々な経験をさせて頂き知立のことより深く知ることができました。

### 期待と今後への活かし

まちづくりというのは、例えばイベントをやればまちが活性化する、といったような簡単なことではないと思います。しかし、何か行動を起こさなければ何も変わらず、現状維持さえ難しくなってしまう可能性もあり、今回企画したイベントのようなことも、一過性のものとしてではなく今後も継続していく必要があると思います。

知立市まちづくり委員会の考え方として、市民が主体となったまちづくりを進めるといふ方針がありますが、それでもやはり官民連携のもと協働のまちづくりが必要だと感じました。知立には知立ならではのまちづくりの形があると思いますが、まだそれはよく分からないままです。それについては自らの今後の課題として考えていきたいと思っています。

名前：信原真治 ・職業：会社役員 年代：60代 ・市内在住 38年



一言コメント：

知立市が何かやってくれるかではなく、我々が知立市に何ができるか！？

#### 参加理由

私は2009年に定年退職。その後を「第3の人生」と位置づけ、建築会社をやる傍ら、5NPOを運営している。また、今年度は町内会の特任副区長を拝命し、今日の仕事をこなすのではなく、5～10年後の町の在り方をトライ&エラーで模索している。

農業活性化のための朝市の開催、遊休農地を活用したホタルの育成、浸水対策とチビッ子防災の活動の展開、シルバー応援活動、龍馬塾による新時代の人間像の追及など、NPO活動を通じてまちづくりを探求している。私流のやり方が、知立市の街づくりにでも通用するかは、少々興味があった。

そこで、知立市のまちづくりに、「何とか一般市民の視点から市を覗いてみたい。少し中身をかじってみよう」という思いから参加してみた。当初は、市役所と市民の協働感覚に大きな違和感があったが、とにかくなにか手ごたえあるものを探そうという一心で、委員会活動をなかば受動的に臨んできた。

私は当初、旧東海道松並木に坂本竜馬像建立、西中町にある荒新切（あらじんきり）遺跡の整備の2点にテーマを絞りたいかったが、その考えは無謀すぎた。初日に断念した。

#### 気づきと変化

とにかく委員会メンバーはそれぞれ個性が強すぎた。私も含め思い込みが強すぎると感じた。4月から何度となく毎回話し合いを行ったが「先が見える」状態ではないことを肌で感じてきた。ベクトルが合わないまま半年が過ぎようとした。

そもそも、「まちづくり委員会」のワードが実体と違うことに気づきが生じた。デスクワーク段階では、むしろ、「まちづくり研究会」もしくは「座談会」がふさわしい。そして実行段階では、「まちづくり応援隊」もしくは「実践プロジェクト」がふさわしい。

また、当委員会制度は、「市民に市に対し何か要求させるのではなく、市に対して市民が何ができるか」を考えさせ、気づかせるシステム(制度)ではないかということが頭をよぎった。市と委員会の協働感覚には今だ解消できない大きな隔たりはあるが、それに「乗るのも【手】かな？」と、腹をくくり、散歩道歩こう会プロジェクトを実施（強硬に？）移してみた感もある。

#### 期待と今後への活かし

新日本歩く道紀行100選「池鯉鮒東海道歩こう会」のプロジェクト品質は、決して高いものとは言えないが、やはり仲間と頭を使い、体を動かすことは「たいへんすがすがしいもの」であり、参加者の満足した、喜んだ笑顔を見れば、天気を気にしながらもここまでやってきて良かった、という達成感は確かに感覚に残った。

この思いも心の隅に入れ、今後、町⇒市、市⇒町の両眼からとらえ、より良い西中町づくり、さらなる知立市づくりに活かしていきたい、と改めて感じた所存である。

名前：藤井 敏彦 ・職業：会社員 年代：50代 ・市内在住 14年

一言コメント：議論ばかりするより、未来につながるのならやってみようとの考えがよかった。



#### 参加理由

・『知立市観光振興計画（案）に対する意見』パブリックコメントに応募したが、生暖かいことしか書いて無く、まずお金を掛けずに出来ることとしては、ポケモンGOが名勝・史跡にポケストップ（アイテムをもらえるところ）ジム（ポケモンをバトルさせるとこ）が設定されており感覚的にいけそうだと思い提案させていただいた。

その1ヶ月後、自治体に応募すれば無料で周遊MAPを作成してくれるとのことが公開され応募した自治体も多い 知立でも始めるしかないとの思いで応募した。

・知立にはみんなに知られてない名勝・史跡が多いと市長はじめ多くの人が言うが、他の自治体も同じであり、近隣の自治体と協力して盛り上げるか、ポケモンGO周遊MAPのようにすぐ取り上げメディアに宣伝されて注目される 先見性ある自治体だと評価されるようになってもらいたい

・自分の出身地である京都府京丹後市は8年ほど前の中日新聞に改革の進んでる自治体全国で7番目であり、ちなみに名古屋市は15番目ほど 総務省にプレゼンして補助金をもらってるそのことが、報道ステーション・ワールドビジネスサテライトで放送されており、ビジョンが明確である。

それに比べ知立では、知立駅立体交差にしないと繁栄はないと言っているがビジョンがわからない まず開発を進めている 名駅地区・栄地区に勝てるわけがない メディアによく出てくるし隣なのでトヨタをたとえに使うが、トヨタが車をどんどん造ればもうかると言っているのと変わらない 実際トヨタは100年に1度の大変革 IT企業がライバル 要はEVで自動運転であり、オーナーが必要としない時、シェアするというようにビジネスモデルが変わってくる。

現在は崩れつつはあるが、トヨタをトップとしたピラミット構造の企業で成り立っている それに比べ iPhoneはAppleが企画とマネジメントはするが、部品を調達し他メーカーに製造させ莫大な利益を上げてる。 更にUber・Mobikeといった車や自転車をシェアする時代になりつつあり、自動車関連企業での収益は将来見込めない為、知立独自で稼ぐ仕組みが必要

・その方法として知立駅はバリアフリー化と南側に改札とロータリーを造るだけで十分 駅周辺に商用施設の場所を確保しつつマンションを多く建て固定資産税と住民税を増やす 知立バイパスに自動運転を見据えた物流倉庫と道の駅を造る そこで6次産業を育てるのと近隣の自治体にも参加してもらい 立地条件は最高の場所であるのは確か 立体交差と比べ将来性があると思う

とは思うが、自分たちで出来ることはやって行きたいとの思い。

#### 気づきと変化

・まずやってみようとの事がよかった感謝です。 将来に繋がらない可能性のないことならやっても無駄であるが、『新日本歩く道紀行100選』に選ばれた 東海道宿場散歩みちの存在を知ったことと実際に歩いたことが、うまくやれば未来につながると感じた

#### 期待と今後への活かし

- ・トップダウンでイノベーションを起こしてほしい
- ・仮想通貨の稼げるヒットハンターズ是非とも今後活かしてほしい

名前：大羽悠介 ・職業：大学生 年代：20代 ・市内在住17年

一言コメント：

とても勉強になる一年でした！ありがとうございました！



#### 参加理由

大学でまちづくりについて学ぶ講義があり、その講義を受けてからまちづくりについて興味を持つようになりました。その時にまちづくり委員会開催の案内を広報で目にしたため、2年前に初めてまちづくり委員会に参加させていただきました。その時に、大学の講義では学べなかった市民目線でのまちづくりの現場に立ち会い、とても勉強になりました。しかし、初めて参加した場であり、自分の人見知りな性格も相まって、受け身的に過ごしてしまった期間だったことが心残りでした。そのため、今回は自分の思っていることを積極的に発信していきたいと思い参加させていただきました。

#### 気づきと変化

今回の活動を通じて、自分の考えの甘さが身に染みて分かりました。自分の提案はどこか抽象的であり、あと一歩二歩踏み込んだ考えに至っていないように感じ、反省の日々でした。今回の活動は話し合いが占めるウェイトが大きかったため、参加者が各々の意見を出し合い、話し合いを重ねました。最終的には「新日本歩く道紀行100選 文化の道」に選定されている散歩道をめぐる、東海道池鯉鮒宿歩こう会を実行し、参加者全員で知立の文化、歴史について知識を深めることができました。

自分個人としては大学等があり、参加できない期間があったことが残念ではありましたが、活動に参加した際には自分の意見について様々な反応をいただき、学びを深めることができたと思っています。至らない点や失礼に当たることも多々あったとは思いますが充実した時間を過ごすことができたと思います。ありがとうございました。

#### 期待と今後への活かし

今回は結論の出ない話し合いの期間が長かったため、毎回毎回明確な結論の出せる話し合いを行い、毎回議論を発展させ、実りある活動をしてほしいと思います。

## 平成29年度 まちづくり委員会委員長 あいさつ

第1回 知立市まちづくり委員会が平成29年5月24日に行われ、全体会議の中で、林市長さんから一人一人に「辞令」が手渡されました。

## 発令事項

知立市まちづくり委員会委員を委嘱します

任期は、平成29年5月24日から平成30年3月31日とします

公募で募集された委員ですから、やる気満々の意気込みを感じる方ばかりでした。さらに、この「まちづくり委員」の応募の動機を伺い、「知立市への思い」が強い方ばかりが集まったなあと感じました。7名の委員の中で、委員長に選出され、「市民自らの手によるまちづくりを考える」組織の舵取り役として、月1回の会議を行ってきました。会議は午後7時からでしたが、皆さんが都合をつけて参加してくださり、本当に感謝しています。

本日、林市長さんをはじめ、市役所の方々の前で、私たちの行ってきた活動を報告するにあたり、企画政策課の方々と委員の皆さんのご協力とご理解があって、報告会が開催できることを喜んでいました。有難うございました。

「市民の 市民による 市民のための まちづくり」を、私たちは他人事とせず、知立市に住む私たちが進んで地域に関わっていくことで、「よりよい暮らしの創造」という、まちづくりを達成できるのではないか、そんな市民があふれて、まちをもっとわくわくさせられるのではないか、そう信じて話し合いを進めてきました。なかなか方向性が定まりませんでした。みんなで知恵を出し合い、イベントを計画実行することにしました。

自主運営組織を立ち上げ、「2. 11 東海道歩こう会」を企画したことです。それは、「知立市内外へ『知立の魅力』を拡大したい」「家族や友達、グループでの参加で、健康増進を兼ねたい」「4つの交通手段（名鉄電車、ミニバス、レンタサイクル、徒歩）から選択しての参加を呼びかける」ことで、イベントのPRをしました。この企画運営をする中で、「チームワークはすごい力を発揮する」と改めて感じました。委員同士の結びつきが強くなり、一人ではできないことが、みんなの知恵で素晴らしいものになることも実感しました。

皆さんのおかげです。感謝の気持ちでいっぱいです。本当に有難うございました。また、「東海道歩こう会」を続けていけたらとも考えています。

平成29年度知立市まちづくり委員会  
委員長 近藤 博子